

けんこう静岡

第130号

平成29年
(2017年)
7月1日(土)

季刊 1部50円 年200円
(送料税込)

発行所

公益財団法人 静岡県予防医学協会

http://www.shsa.net/

(静岡事務所) 〒421-1292 静岡市葵区建徳1-3-43 (054) 278-7716
(藤枝健診センター) 〒426-0053 藤枝市善左衛門2-11-5 (054) 636-6461
(総合健診センター) 〒426-8638 藤枝市善左衛門2-19-8 (054) 636-6460
(沼津事務所) 〒410-0011 沼津市岡宮1210-1 (055) 921-1934
(浜松健診センター) 〒435-0006 浜松市東区下石田951 (053) 422-7800
発行責任者 石黒 満 印刷 松本印刷機

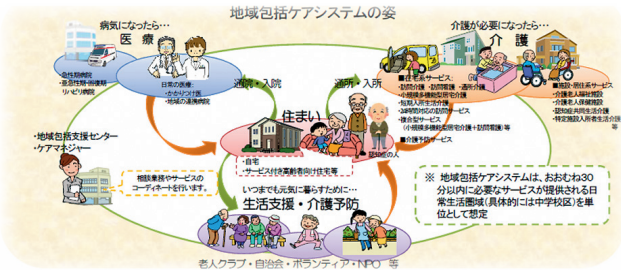


図1 地域包括ケアシステムの姿

高齢者の医療、介護、生活等を地域（住民、行政、専門職等）で支える。

生活支援・介護予防等の分野）で高齢者を支える仕組みとして地域包括ケアシステムの構築を進めています（図1）。



図2 こころざし育成セミナー

高校生を対象に複数の病院等で開催。医師の講話や模擬手術体験、施設見学、大手進学塾による受験対策など盛りだくさんの内容。平成28年度は計541名が参加。



図3 夏季セミナー

全国の医学修学研修資金貸与者が集まり県内で活躍する医師の講演や先輩医師との交流会を開催。地域医療への関心を高めVMCの仲間との顔の見える関係づくりの場。平成28年度は計92名が参加。



図4 次世代医師リクルーター委嘱式

川勝知事が若手医師に次世代医師リクルーターを委嘱。リクルーターは学生が参加する夏季セミナーや意見交換会等に出席しアドバイスをを行い、学生は手厚いサポートを受けられる。平成29年度リクルーター15名。

わが国の死亡場所の推移を見ると、戦後には病院で死亡する割合が10%程度でしたが高度経済成長とともに増加し現在では80%近い割合となっています。一方で、戦後80%以上あった自宅死が現在は10%程度まで低下しています。都市部への人口集中や核家族化が進み、病院や福祉施設への依存が進むなかで高齢社会となり社会保障費が増大し続けていることも問題となっています。

国では医療・介護人材の効率的な活用を進めながら社会保障費の増加を抑制するため、医療や介護の制度改革により、地域（医療、介護、生活支援・介護予防等の分野）で高齢者を支える仕組みとして地域包括ケアシステムの構築を進めています（図1）。

*1 医師・歯科医師・薬剤師調査

それなら専門性が高い医師を県内に招聘すればよいと思われそうですが、そもそも専門性が高い医師を招聘すること自体が困難であり、必要な医師数を確保することは不可能です。そこで本県では、高校在学中から医師になるこころざしを育み、さらに医学部に入学してからは本県との関係性を築き地域に根ざした医師を比較長期的な目で養成する取組を進めています。

*2 本県の医学修学研修資金貸与制度

貸与額	月額20万円(最長6年間) ⇒ 最大1,440万円
返還免除勤務期間	臨床研修終了後、貸与期間の1.5倍の期間 ⇒ 6年間の貸与で9年間勤務 ※県内公的医療機関等で臨床研修を行った場合、勤務期間を最大1年間短縮 ※履行期限：大学卒業後、貸与期間の2倍に4年を加えた期間
勤務医療機関	県内の公的医療機関等のうち、県が指定する医療機関 ・一般枠：本人の意向を聴いた上で、県が指定 ・一般枠以外：本人の意向を聴き、大学と協議した上で、県が指定
診療科の指定	なし

ぜひみなで地域に根ざした医療人材を育てようではありませんか！

●2025年問題と地域包括ケアシステム
団塊の世代（昭和22年から24年生れ）が75歳以上になる2025年（平成37年）に向けて医療と介護の需要が高まる一方で、医療と介護の供給量が相対的に不足することが2025年問題です。

●地域に根ざした医療人材を求めて
地域医療にとって医師や看護師は必要不可欠な専門職ですが、医師数について平成26年末現在の調査（*1）によると本県は193:9人（人口10万人当たり）と全国平均233:6人と比べて少なく、一方で看護師も平成27年では需要数37,209人に対して充足率97.7%と不足しており今後も看護師不足は継続すると見込まれます。

●ふじのくにバーチャルメディカルカレッジの取組
医師確保の取組について本県は、平成19年度に医学修学研修資金貸与制度（*2）を創設するとともに、医師確保対策を一元的かつ専門的に進めるため、全国に先駆け平成22年度に「ふじのくに地域医療支援センター」を設置しました。さらに取組を一層充実・強化させるため、平成26年度に仮想大学である「ふじのくにバーチャルメディカルカレッジ」（以下、VMCという）を創設し、県内外からの医師の確保及び地域の偏在解消に努めています。

●看護師確保への取組
看護師不足の要因として、高齢社会を背景とした医療需要の増大に加え、高度専門医療への対応や訪問看護等の需要が多様化していることが挙げられます。また、病棟勤務における交替勤務と育児・家庭との両立に相当な努力を要するなど厳しい勤務環境による高い離職率も要因の一つです。

キーワード…地域包括ケアシステム、バーチャルメディカルカレッジ、医学修学研修資金貸与制度、医師確保、看護師確保



課長 秋山 泉

静岡県健康福祉部医療健康局地域医療課

静岡県は地域に根ざした医療人材を求めています ふじのくにバーチャルメディカルカレッジを中心に



けると、教育面では夏季セミナー（図3）や次世代医師リクルーターによるサポート（図4）、臨床面では専門医研修ネットワークプログラムによる支援を受けることが出来ます。他に進路指導や専任医師によるきめ細かな配置調整、女性医師支援等を行っています。

こうして平成28年度末現在、医学修学研修資金貸与者の大学在学中509名、初期研修中134名、勤務中100名となっています。

本県では、全国の大学で学ぶ本県の医学修学研修資金被貸与者が、取得した専門医資格を活かし、末永く県内で活躍できる環境を整備する取組を推進しています。

年一回は健康チェックを！

健康はあなたの財産です
すこやかな明日のために

人間ドック
脳ドック ものわすれドック

総合健診センター ヘルスポート
〒426-8638 藤枝市善左衛門2-19-8
TEL 054-636-6460
FAX 054-636-6465
0120-39-6460

「けんこう静岡」は、当協会ホームページから見るができます。

http://www.shsa.net/ または「静岡県予防医学協会」で検索してください。